

咳昨日より多し、

割烹

石井泰次郎

鹿尾藻の白わへの拵方

砂糖	みりん酒	堅魚煎汁	醬油	豆麩	醬油	みりん酒	砂糖	乾鹿尾藻	鹿尾藻の白わへの拵方
六	四	八	五	四	九	四	二十	二十	二十
匁	勺	勺	勺	箇	勺	勺	匁	匁	合

ひじき藻を、水に暫く漬けてやわらげ置き、柔らかになりたる時、取上げて水を切て、鍋に湯を入れたるに、入れて二十分間湯煮して、上の泡をすくひ去りて、取上げて湯を切りて、別の鍋に、だし、さたう、みりんを入れ、其中へひじきを入れて、醬油を入れて、煮ること二十分間して、鍋をかるして、ざるにひじきを取わけおくべし、とうふを布に包みてしぼりて、搦盆に入れて、すりて其中へ、醬油、だし、みりん、砂糖を合せて、鍋に入れて煮たるものをつぎ入れて、右のひじきを、入れて、箸にてかきあはせおきて、皿にもりて出すべし、

○ひじきにかぎらず、何にても、このわりにてあへて、つくりこゝろむべし、

これはたやすき日用惣菜の仕方なれども、たい見

るときは、何ともなき料理法なれど、石井式教授法の筆記として見る時は、なにかかことなるところあるべし

婦人と親族法

太田英隆

第二節 親族の區別

親族の區別は何人に限らず是非之れを知りてく
の必要あるを以て、稍詳しく説明しますから、複
雑で了解し難いでせうが、少しく注意してお読み
下さらば解し得られませう、

第一、血族

血族と云ひますのは、血統が共同の始祖から出
て相連結してゐる者を云ひます。血族を親族と申
しますのは申すまでもないやうですが、若し血の

連結してゐるの故を以て、無限に親族としたなら
ば、路傍の他人に等しき者までも親族とせねばな
らないやうになりますから、之れを六親等と限つ
てあります、之れ普通人類の情義を斟酌し併せて
古來の習慣を參酌したもので最も適當だと言はね
ばなりません。

血族を直系と傍系との二つとなすことが出來ま
す。直系とは共同の祖から一直線に下降するも
ので、即ち祖父母、父母、子孫などは之れであり
ます。傍系とは共同の祖から出るのは前者と
同一ですが、一直線に下らない者で、例へば伯叔
父母、兄弟、姉妹、從兄弟、甥姪のやうな者であ
ります。

第二、偶配者

配偶者と云ひますのは、正當の結婚で生じた夫